

1. 略歴

| | |
|---------|-------------------------------|
| 1982年3月 | 東京大学文学部国文学専修課程卒業 |
| 1985年3月 | 東京大学大学院人文科学研究科国語国文学専門課程修士課程修了 |
| 1987年3月 | 東京大学大学院人文科学研究科国語国文学専門課程博士課程中退 |
| 1987年4月 | 東京大学文学部助手 |
| 1990年4月 | 上智大学文学部専任講師 |
| 1995年4月 | 上智大学文学部助教授 |
| 1997年4月 | 東京大学大学院人文社会系研究科助教授 |
| 2007年4月 | 東京大学大学院人文社会系研究科准教授 |
| 2010年4月 | 東京大学大学院人文社会系研究科教授 |

2. 主な研究活動

a 専門分野

日本近代文学

b 研究課題

太宰治の文学の自意識過剰の饒舌体と呼ばれる文体に注目するところから出発、そのような文体が育まれてゆく必然性を近代文学史の展開に即して考察して行く中で、書き手の表現意識が「私小説」というわが国独自の表現形式を生み出してゆく機構にあらためて着目するに至った。いわゆる作家論の一環として太宰治の文学の特質を解明して行く方向と、日本近代文学における「自己」表現の歴史の変容を解明して行く方向とを、同時並行的におしすすめて行くことを現在の研究課題としている。

c 主要業績

(1) 著書

共著、安藤宏・高田祐彦・渡部泰明、『日本文学の表現機構』、岩波書店、2014.3

(2) 論文

安藤宏、「片岡鉄兵関連資料から見えてくるもの」、『日本近代文学館年誌 資料探索』、8号、2013.3

安藤宏、「「道化の華」から見えてくる近代小説史」、『日本文学論究』、第七十三冊、36～47頁、2014.3

安藤宏、「近代日本文学」という制度の成立』『人文知 3境界と交流』（熊野純彦、佐藤健二編、東京大学出版会、2014年9月刊行予定）

(3) 解説

安藤宏、「『日本近代文学館年誌』第8号紹介 「個」を繋ぐネットワーク」、『日本近代文学館』、第253号、5頁、2013.12

安藤宏、「資料解題」、『DVD版日本近代文学館所蔵『太宰治 直筆原稿集』全三巻』、第一巻、7～13頁、第二巻、7～22頁、第三巻、7～21頁、2014.2

安藤宏、「『太宰治文庫』のデジタル化について」、『日本近代文学館』、第258号、2頁、2014.3

(4) 啓蒙

安藤宏、「我田引水の弁」、『文学』、14巻3号、50～63頁、2013.5

(5) 予稿・会議録

国際会議、安藤宏、「「舞姫」読解の問題点」東京大学・コロンビア大学合同国際シンポジウム「日本文学に関する研究と教育の国際化」基調報告、2013年3月29日、於コロンビア大学

安藤宏、「六月例会所感」、『会報』119 日本近代文学会、36～37頁、2013.9

(6) 受賞

国内、安藤宏、第21回やまなし文学賞 研究・評論部門、山梨県、2013.3

国内、安藤宏、第35回角川源義賞 研究評論部門、角川文化振興財団、2013.12.5

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

放送大学、早稲田大学、成城大学、上智大学、慶應義塾大学

(2) 学会

日本近代文学会理事、昭和文学会常任幹事、日本近代文学館理事